



日々の子どもの姿をお届けする
都台こども園・にこにこ園 園通信

あそぶ

2022年8月22日(月)

No.40

都台こども園では、保育の質の向上を目指して年間を通して園内研修に取り組み、います。今回は、園外に關して地域の学校の先生の先生方と共に学ぶ研修をご紹介します。

7月30日の公開保育では、加古川市教育委員会、両荘中学校、上荘、平荘小学校の先生方と幼児期の教育について話し合いました



色の組み合わせについてみんなで考え、意見を出し合います。クエン酸やホウ酸を使って科学実験を楽しむ子ども達。

保

公開保育・園内研修 育の質を高めよう

都台こども園では、「保育の質」を高めるために、園内で様々な研修を実施しています。兵庫教育大学の先生による保育指導や社労士さんのマネジメント研修、幼児教育の専門的な分野のオンライン研修、加古川市のキャリアアップ研修などに積極的に参加しています。また、日々の保育を振り、職員間で話合う時間の確保など、保育の専門性や質の向上に向けて園全体で努力をしています。

今年度はコロナ禍で中止していた公開保育を、5年ぶりに実施し、園を開いて地域の小・中・の先生方に幼児期の教育・保育を参観いただきました。兵庫教育大学准教授 鈴木正敏先生に指導助言を頂き、小学校の先生方と共に「子どもの姿を中心に」幼児期の教育の在り方を意見交換しました。園を開くことでより園や子どもの姿を深く理解して頂くことが出来、外部の先生方から沢山の気づきやご意見を頂戴し、保育者の課題共有や自己肯定感が生まれ、園全体の質の向上につながりました。小学校の先生からは、「不思議だなと興味を持った子ども達の体験を保育者が仕掛けていく環境の構成のすごさを学びました。」といったご意見を頂きました。

現在、地域では両荘みらい学園の開校に向けて準備が進んでいます。幼児期から環境が大きく変わる小学校生活、子ども達が段差なくなめらかに入学を迎えられるよう、幼児期の学びの経験が小学校生かされるよう、小学校の先生方とカリキュラムの接続、交流も深めていきたいと思えます。

